

## 地元消費(Buy Local(バイ ローカル))等について

□調査期間 令和4年10月31日～11月4日

□調査の趣旨

日常の買い物でどのくらい地元消費されているのかを調査します。  
Buy Local(バイ ローカル)とは、地元の店舗で買い物しようというキャッチフレーズであり、欧米をはじめ世界の様々な自治体や地域で取り組まれている経済活性化の運動のことをいいます。

□対象者数 1079 人(令和4年10月31日現在)

□回答者数 737 人

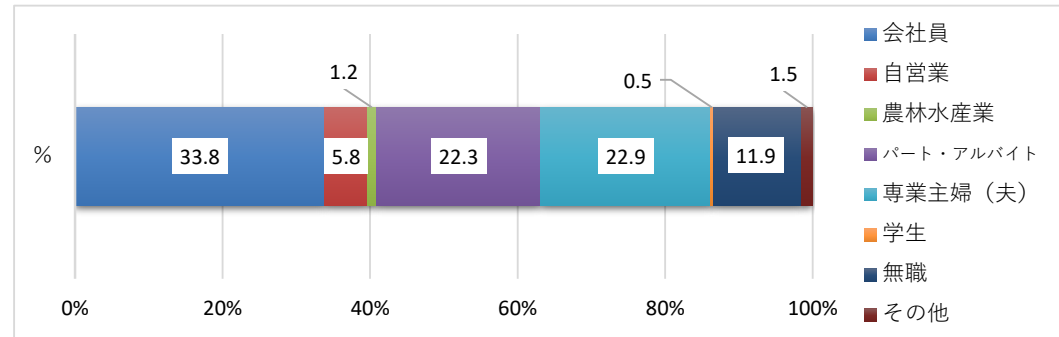
□回答率 68.3 %

(図および表中の比率は、少数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。)

【Q1】まずは、モニター情報を教えてください。

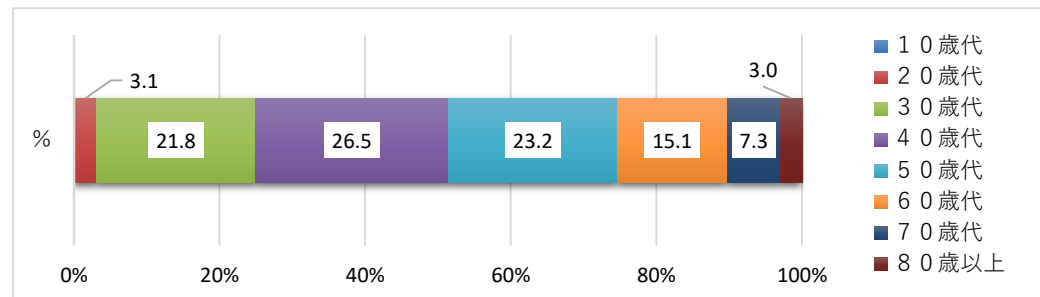
【職業】

内訳	人数	%
会社員	249	33.8
自営業	43	5.8
農林水産業	9	1.2
パート・アルバイト	164	22.3
専業主婦(夫)	169	22.9
学生	4	0.5
無職	88	11.9
その他	11	1.5
合計	737	99.9



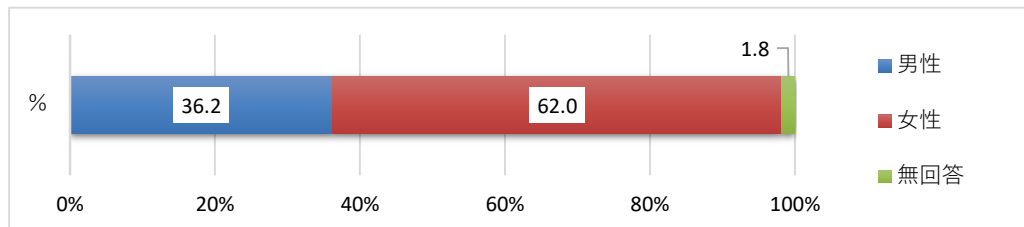
【年齢】

内訳	人数	%
10歳代	0	0.0
20歳代	23	3.1
30歳代	161	21.8
40歳代	195	26.5
50歳代	171	23.2
60歳代	111	15.1
70歳代	54	7.3
80歳以上	22	3.0
合計	737	100.0



【性別】

内訳	人数	%
男性	267	36.2
女性	457	62.0
無回答	13	1.8
合計	737	100.0

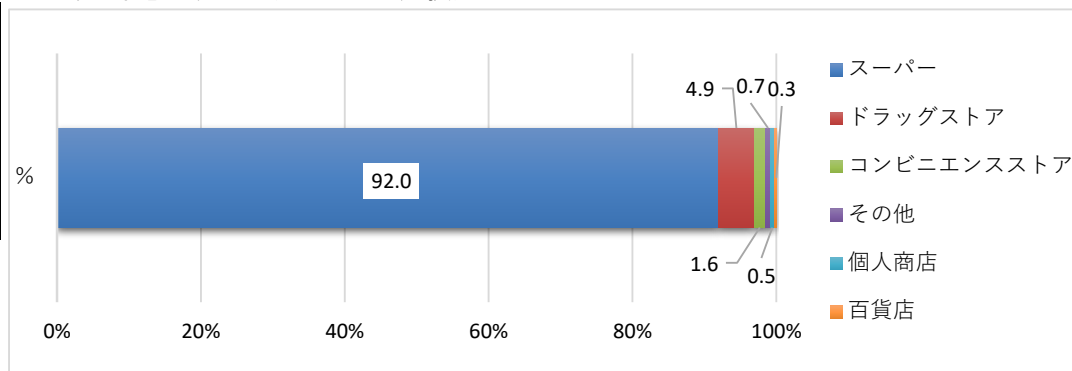


【Q2】お住まいの地区はどちらですか？(ひとつだけ選択)

内訳	人数	%	内訳	人数	%
本町	12	1.6	貴志	59	8.0
城北	8	1.1	楠見	40	5.4
広瀬	22	3.0	西和佐	10	1.4
雄湊	17	2.3	岡崎	24	3.3
大新	11	1.5	西脇	23	3.1
新南	14	1.9	和佐	11	1.5
吹上	18	2.4	安原	14	1.9
砂山	15	2.0	西山東	4	0.5
今福	8	1.1	東山東	3	0.4
高松	30	4.1	有功	28	3.8
宮	36	4.9	直川	9	1.2
宮北	9	1.2	川永	5	0.7
四箇郷	22	3.0	小倉	17	2.3
中之島	15	2.0	加太	2	0.3
芦原	2	0.3	山口	4	0.5
宮前	30	4.1	紀伊	18	2.4
湊	7	0.9	雑賀	31	4.2
野崎	29	3.9	雑賀崎	3	0.4
三田	14	1.9	和歌浦	15	2.0
松江	20	2.7	名草	33	4.5
木本	24	3.3	田野	0	0.0
			市外在住	21	2.8
			合計	737	99.8

【Q3】食料、日用品など日常の買い物で最もよく利用するお店はどのような業態ですか？(ひとつだけ選択)

内訳	人数	%
スーパー	678	92.0
ドラッグストア	36	4.9
コンビニエンスストア	12	1.6
その他	5	0.7
個人商店	4	0.5
百貨店	2	0.3
合計	737	100.0

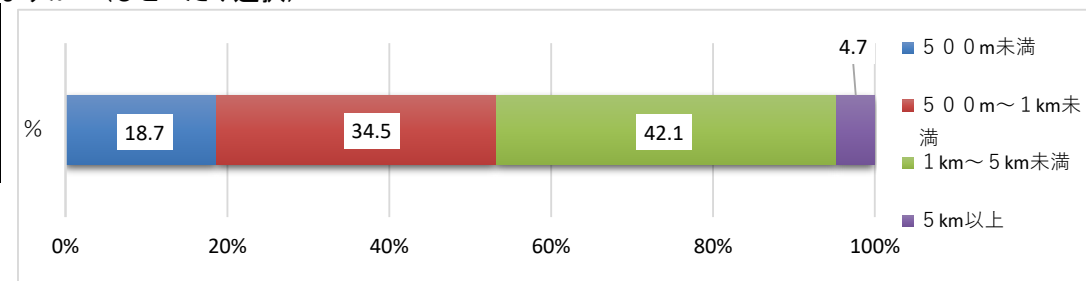


【Q3】その他(対象者5人)

- 宅配
- 生協
- 和歌山市民生協
- ネット
- 生協の宅配

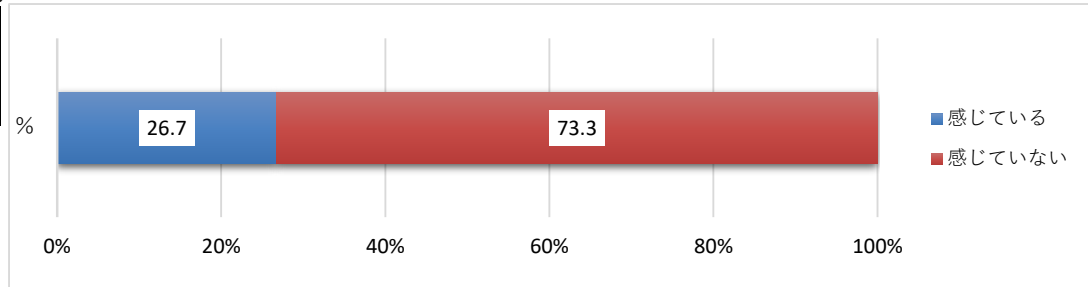
【Q4】最もよく利用するお店は、お住まいからどのくらい離れていますか？(ひとつだけ選択)

内訳	人数	%
500m未満	138	18.7
500m～1km未満	254	34.5
1km～5km未満	310	42.1
5km以上	35	4.7
合計	737	100.0



【Q5】日常の買い物に不便を感じていますか？(ひとつだけ選択)

内訳	人数	%
感じる	197	26.7
感じない	540	73.3
合計	737	100.0



【Q6】Q5で「感じる」と回答された方にお聞きます。どのようなところに不便を感じていますか？(あてはまるものすべて選択)

内訳	人数	%
徒歩圏内で行きたいお店がない	165	22.4
車や公共交通機関などの移動手段がない	43	5.8
バス・電車・タクシーなどの公共交通機関の運賃が高い	40	5.4
家族の協力がないと行きたいときに買い物ができない	33	4.5
その他	24	3.3
営業時間が短い	23	3.1

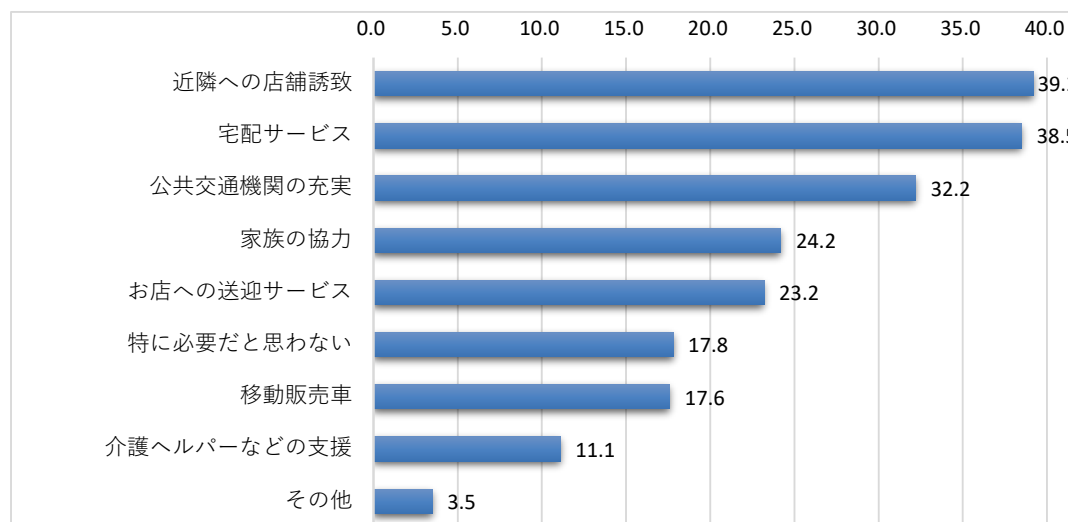


【Q6】その他(対象者24人)

- 運動がてらお買い物をしたいのに道が悪く自転車も乗りづらい、車が多いのに横断歩道が少ない。車ありきの和歌山県
- 最近はずいぶん袋がもらえないので
- 車でしかいけない。公共交通機関が使える距離にない。
- 徒歩圏内で買いに行けるお店が少ない。
- 徒歩でしか手段がないので、大量に買いたくても難しい。
- 少し遠いので行って帰ってくるだけでも時間がかかる。
- 普段使用しているスーパーでは、買えない物は、遠方のスーパー(1km～5km未満)へ徒歩片道約20分かかる。
- お気に入りのスーパーに行きたいが遠いし車では道が混んでいる。
- 欲しい衣料品は和歌山市にない。又、日常の食品等は問題ないが品揃えや美味しいお惣菜等は手に入らないので残念。
- 大変混雑している。
- 交通機関の利便性が悪い。
- 個人商店がどこにあるかわからない。
- 買いに行く時間がない。
- 近くの店舗では、全てが揃わない。
- お店が少ない。お店の商品が少なく、一軒で済まない事がある。
- 欲しい品物が大阪市内にしか無いので
- 近隣にない
- 引越してから遠くなった
- お店の品揃えが少ない
- 欲しい商品がまとめて買い揃えられる安くて手頃な価格で買える総合施設が近くに無い。
- 赤ちゃん連れで大荷物を抱えるのは難しい
- ありきたりな商品しかない
- 線路があつて遠回りしないと渡れない
- この店ではこれを買うときまっているものがあるが、全部ばらばらのため、一回の買い物で、あちらこちら、はしごしなければならない。

【Q7】買い物環境を良くするにはどのようなことが必要だと思いますか？(あてはまるものすべて選択)

内訳	人数	%
近隣への店舗誘致	289	39.2
宅配サービス	284	38.5
公共交通機関の充実	237	32.2
家族の協力	178	24.2
お店への送迎サービス	171	23.2
特に必要だと思わない	131	17.8
移動販売車	130	17.6
介護ヘルパーなどの支援	82	11.1
その他	26	3.5



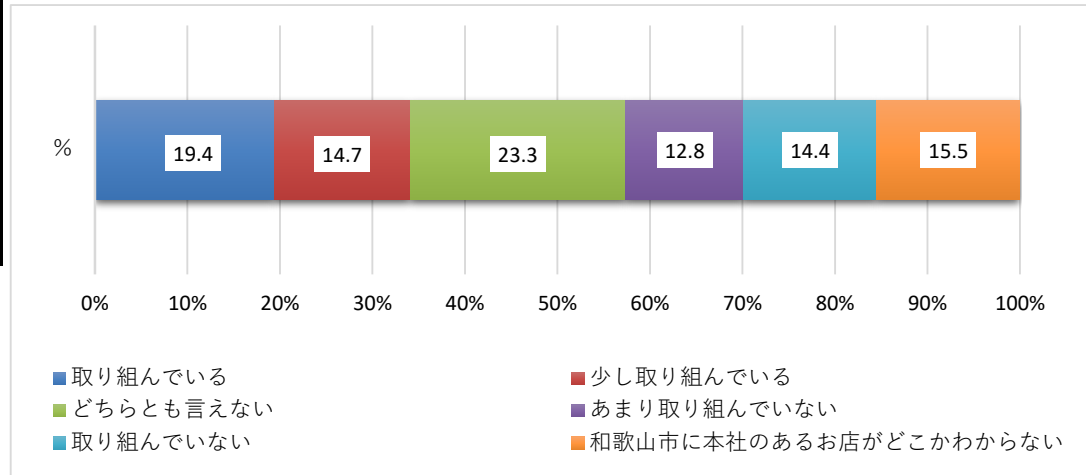
【Q7】その他(対象者26人)

- 人・自転車の歩道整備(広く確保)
- 道路整備。どこもかしこもガタガタです。
- スーパーマーケットを巡る循環バスルートの創設
- 歩いて行ける場所にあった個人商店が次々と無くなりスーパーやコンビニばかりになっている。個人商店を守る対策が必要だと思う。
- 今のところ健康なので買い物に不便を感じていない。ただ体が不自由になったときはどうなんだろう？イマイチ良く分からないが。
- スーパーをまわる専門のコミュニティバスがあればいいと思います。どこまで乗っても100円とか。公共のバスの本数は少ないし、家族で行くと高い！
- 営業時間を遅くまで開けて欲しい。
- 買い物した物を自宅まで届けてくれるサービスがほしい。
- 道を整備する。一方からしか入れないからUターンしないといけない、お店から出にくいなどがなくなればいいなと思います。
- 今は車、バイク、自転車を利用できるが、いつかそれらを出来なくなる時が来る。その時は「買い物難民」になる。TVのニュースで移動販売車や買い物店舗へのバス利用をしている地域、地区があるようです。その実態や効果(利便性)は？
- その他運転免許等、移動手段を持たない高齢者・障害者等の利便性を考えたい。
- 価格
- お店の商品の種類の充実。
- 商品販売価格
- ネットスーパー
- 今はまだ車に乗れるので
- 食品のスーパーは近くにあり自転車で行けますが、衣服や電気製品などは自動車で行かないとダメです。
- 値段の安さ
- 70パスの100円/回バスのように、タクシーもそのくらいで乗れたら助かる。

- 駐車場の出入り、スペース、安全面の充実
- 駐車場の車まで荷物を運んでくれると大変助かる
- 市駅前に100円均一ショップと、オムツやミルクなど赤ちゃんグッズが買える店舗があると嬉しいです。
- 子どもを同伴しやすい環境(駐車場が広い、カートがある、トイレにカートごと入れる、ちょっとした遊び場があるなど)
- 子供の託児サービス 買い物ヘルパー
- 駐車場が広い

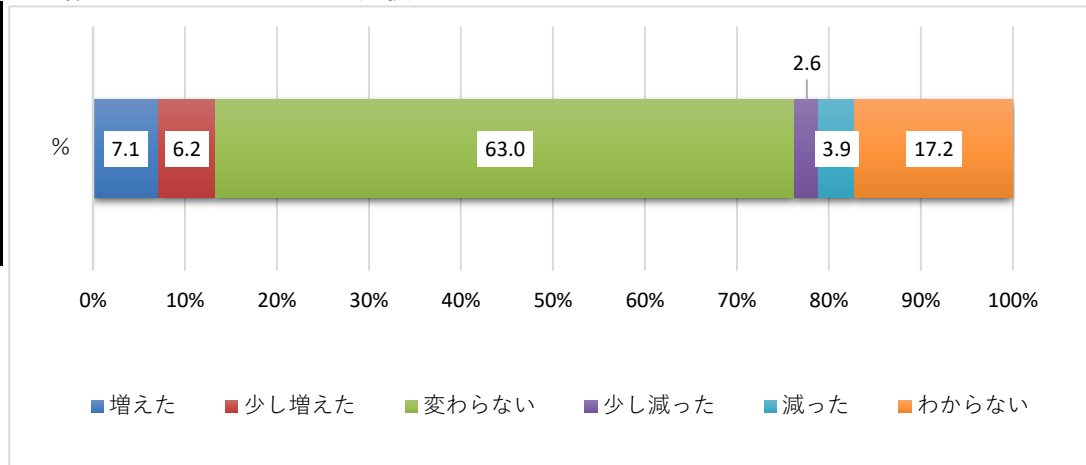
【Q8】日常の買い物で、和歌山市に本社のあるお店で購入するように取り組んでいますか？(ひとつだけ選択)口

内訳	人数	%
取り組んでいる	143	19.4
少し取り組んでいる	108	14.7
どちらとも言えない	172	23.3
あまり取り組んでいない	94	12.8
取り組んでいない	106	14.4
和歌山市に本社のあるお店がどこかわからない	114	15.5
合計	737	100.1



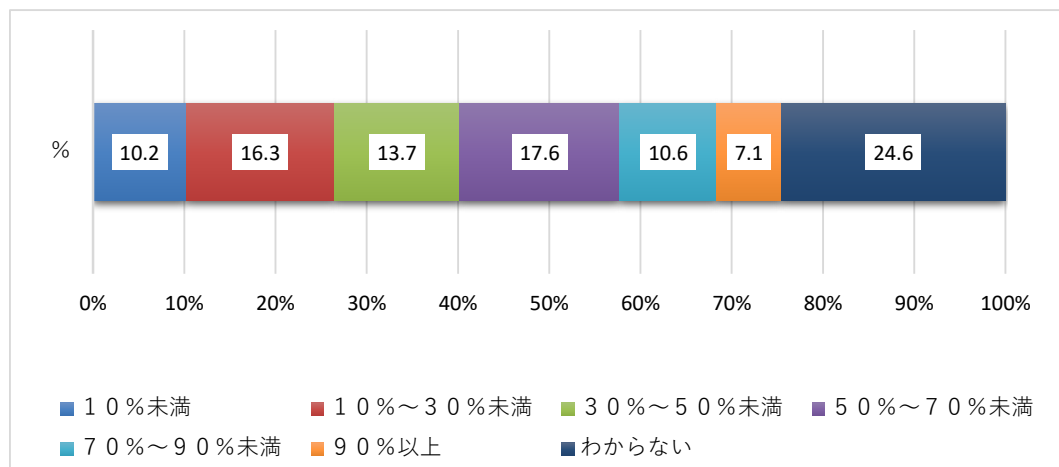
【Q9】1年前と比べて、和歌山市に本社のあるお店で購入する機会が増えましたか？(ひとつだけ選択)

内訳	人数	%
増えた	52	7.1
少し増えた	46	6.2
変わらない	464	63.0
少し減った	19	2.6
減った	29	3.9
わからない	127	17.2
合計	737	100



【Q10】日常の買い物で、和歌山市に本社のあるお店での消費額は、全体の消費額のうち最も近い割合はどれですか？（ひとつだけ選択）

内訳	人数	%
10%未満	75	10.2
10%～30%未満	120	16.3
30%～50%未満	101	13.7
50%～70%未満	130	17.6
70%～90%未満	78	10.6
90%以上	52	7.1
わからない	181	24.6
合計	737	100.1



【Q11】地元消費(Buy Local(バイ ローカル))等に関するご意見などありましたら、ご記入ください。(任意)

- 近くに安い店があれば、それを利用するのは、経済的視点からやむを得ない。公共交通機関の利便性を高め、安価に提供されれば、地元経済も潤う。
- 田舎に、住んでいますが今は車で、買い物行ける年齢ですが、地元には、安くて、雰囲気の良い買い物しやすいお店が、必要です。前に、ご意見を書いて送ったらすぐに対応してくれました。  
最近週1で、近所にも、移動販売のお店が来るようになりました。高齢になり、運転免許書を返す方が、増えているお宅には、良いと思っています。目で見て買うことができるといいと思ってます。地元のお店をもっと皆さん利用して欲しいです。
- 買物は家の近所でする事が多いですがドラッグストアにしてもスーパーにしても地元の店舗が少ないし、他府県から来た店舗の方が安価な時が多いです。
- 野菜など地産地消を気にかけていますが、スーパー等が少ない。あっても高価格であったり、個人店で入りづらかったり。
- 和歌山は基本的には和歌山の店だと思っので、地元消費に関しては県で見ると高いのではないのでしょうか。ただ、地産地消が少ない気がします。
- 大賛成です。もっと宣伝してください。
- 大変良い事だと思います。地元の食材も多く売っているので気に入っています。
- 出来る限り和歌山市内の飲食店や商店で買うようにしていますが、和歌山市に本社があるかどうかは考えたことはありませんでした。  
祖母に関しては家族の協力が無ければ買い物もできません。  
最近、地域バスが実証運行していますが、四箇郷地区の地域バスは、和歌山駅や和歌山市駅から生協病院に行くのと四箇郷周辺が主で、中之島地区が不便なのは変わりません。  
よりきめ細やかな地域バス、またはその他の代替手段(乗合タクシーや送迎バス)などを走らせて欲しいと思います。  
特に廃線となった路線バスのバス停跡には、車を停めることができるスペースが残されていますし、路線バスが走っていたということは利用者数が減少したとはいえ、需要があった場所だからです。  
その辺りを主として、地域住民の足となる公共交通機関を走らせていただきたく存じます。  
よろしく願い申し上げます。



- 地元の店で買いたい但他県の大規模店舗の方がサービスが充実してるので、そちらに行く事が多い。地元店もサービスを増やしてほしい。
- 価格高騰で地域は気にしてられない。安いところのものを買う。
- 地元の個人商店の数が少なくなり、利用する機会がほぼ無くなった。今後は意識して取り組んでいきたいと思う。
- スーパーが出来て個人商店がどんどんなくなり、今はスーパーがどんどんなくなって、車で何キロも大型店まで走らないといけなくなった。1つ2つの物が欲しいだけのために、広い駐車場から歩き、広い店舗の端から端まで歩くのがしんどい。結局まとめ買いになって、今度は大量の荷物の運搬もしんどくなり、家にスペースもないのにストックや整理も大変。長年、地元消費に努めていたが、去年から体力的に断念して宅配に切り替えた。大型スーパーの広くてしんどいのと、巨大冷蔵庫の店内の冷えからやっと解放された。地元消費したいのに近くなってできなくなった。産直店だけではいる物全てがまかなえない。産直店も遠いし。大型チェーンの店頭からこうなったと思う。地元消費を勧めながら、現実システムはそれを排除する方向は、地元消費したいのに出来ない消費者に罪の意識を感じさせてどうしたい？ キャッチフレーズだけの今頃そんなことするぐらいなら中小個人商店を大型チェーンから守るべきだった。
- 販売店は、地元にも本店があるかはそれほど考えていないのですが、野菜等は特に地場産品にこだわって買っています。
- 地元である事をもっと積極的にPRして貰わないと、よく分からない。  
たとえば、有名チェーン店加盟企業そのものが和歌山市に本社があるかどうか不明？
- 物価が上昇し、価格がより安い格安スーパーに行くことが多いのでは。また地元のスーパーに行ってもらうには賞味期限が近くなったものを比較的早い時間に割安で販売するようにしてもらえれば行くようになるが。
- 以前にあった地元の大型店舗がほしい。
- 道の駅みたいな施設を増やしていけばいいと思います。
- 地元消費で電子決済で買い物したらポイントが付く
- 地元にも本社のある会社かどうかは消費者にはわかりません。
- 食材は地物が多いものの、その他生活必需品はホームセンターを利用することが多く、それらを市内が拠点である店舗で購入すると割高になる。  
高級品は百貨店を利用するため、市内に本社がある店舗での消費割合が高くなる見込みがない。
- 地元消費を求めるなら、サービス、キャンペーンを充実してほしいです。
- 商品の品揃えや、鮮度、価格など総合的に判断して、買い物する場所を選んでいきます。地元の店舗も大事ですが、それぞれが努力すべき。
- たとえ本社が和歌山にあるお店でもそのお店の仕入れ先が和歌山ではないということも多い。市の事業でも納入業者でも給食でも事業者の仕入れ先が大阪だったりする。結局役所は目先のことで怒られなければならないので自分たちが発注する先が和歌山に本社があればそれでよいと思っている。その先はいつでも良いと。実際和歌山の施設で出てきたパンの生産者が大阪だったことがある。しかしそもそもその配食事業を行っているのは入札なりプロポで行政から指名された業者で和歌山に本社がある。こんなことではとても役所にパイロカルを本気で取り組んでいると言われても信じられない。
- 和歌山市は目の前に海があるのに、何故スーパーで外国産や他府県産の解凍された魚を買わなければならないのでしょうか？これは決して外国産や他府県産の物が悪いと言っているわけではなく、もっと新鮮で美味しい魚があるのに、それを買う事が出来なくなっている現状がとても残念です。  
近年、子ども達の魚離れを耳にしたりもします。日本は世界の国々と比較しても食料自給率の低い国となっています。第一次産業を守る意味でも今、本気で考え、取組まなければ産業を伝承する人達が居なくなってしまう。
- 個人商店などが持つ魅力を如何にPR出来るか？がキーポイントとなるでしょう。  
価格競争であったり品揃えが豊富な大型スーパーショッピングモールなどに個人店はどうしても負けてしまいます。  
ネットショッピングの普及などで厳しいとは思いますが、日頃から消費者がパイロカルの心掛けを意識することが必要になってくるでしょう。
- 食材など主な利用は和歌山本社の宅配がメインだが、買い物は地元店を利用するように心がけている。ネットでしか買えないものはネットで買うが、書籍などは町の小さな本屋さんで取り寄せてネットを使わないようにしている。小さい地元店を利用するのは、税金が和歌山に還元されるようにと考えるからだが、和歌山の食材や商品が並んでいて、新鮮だし農薬を使っていない野菜など買えるのがうれしいから。それからQ.7についてだが、いま現在は不便を感じていないが必要だろうと思うものを選んだ。一番は公共交通機関の充実。次にスーパーが住民に寄り添ってくれること。人によっては頼める家族がいない、パソコンを使えないなど、状況が異なる。私としては介護ヘルパーに頼むのは最後の手段。もちろん介護ヘルパーを否定するものではなく、いつかはお世話になる日が来ると思う。パイロカルのアンケートだが、買い物難民は社会福祉の問題でもあるのだと考えさせられた。
- 和歌山payにより、地元の店を使う人が増えるといいな、と思います。その後も地域のお店を支援するキャンペーンを継続してってもらえれば、地元で買う習慣ができると思います。例えば、飲食店応援キャンペーンがあるときは周りの友達も外食するようになっています。
- 地元消費することにより 経済活性に繋がると思います。とは言え配送による交通網が便利になり仕入れ方が随分変わって来たのではないかと思います。  
消費者は価格が安ければ良い(ネットも含め)という傾向になっているのではないのでしょうか？

- コミュニティバス運行して欲しい。
- もっと地元の企業や商店が発展するような仕組みを作って欲しい。
- 地場産の商品を知らない。野菜や米は和歌山の物を頻りにたべているが、それ以外に和歌山になにかがあるのか知らない。
- 消費は、価格、品質、買いやすさ等で選択する。同じ品質価格の商品があれば地元を優先するが地元愛だけで虎の子のお金は使わない。ただ、もう少し視点を拡げ和歌山でなく日本に拡げれば「Buy Local」も納得できて、日本製品の消費モチベーションも上がる気がする。
- 地元の企業・商店等で買い物をすることは、地域経済の活性化につながり、ひいては地域の発展にもつながる。地元の企業・商店を地元の人が育てる、大事なことだと思う。
- 地元消費すれば、和歌山市が補助を企業ではなく、消費者に実施してくれれば、地元消費を行う。結局は、商店の品揃えと販売価格で消費先を決定します。
- 地元消費は理想的ですが、店舗の立地、価格や鮮度、商品内容などが我が家には合いづらい。
- 和歌山市、海南市、岩出市などは和歌山の地元スーパーが、がんばってくれているので買い物環境は整っていると思います。大方の物はそろいます。ただ、機械物はどうしても通販等でしか揃わないですが、食料品や消耗品は地元スーパーの方が非常に買いやすくて助かってます。
- 車の運転をする人が身近にいれば簡単に買い物することができるのですが。もっと市内循環バスなどがあれば嬉しい。
- 品揃えが少ないので大手のお店に行ってしまう。公共の電車は路線を増やすには大変だが、バスはお店が送迎出来るシステムを作って欲しい。
- 積極的にバイローカルしたいとおもいます。
- 本社がどこにあるかというよりも、商品の産地がどこかということの方が大切に思えます。和歌山の会社が和歌山のものを大切に品揃えしてくれて、輸送コストをカットして新鮮なものが安く手に入るなら喜んで利用します。
- 商店街は寂れているし、地元のスーパーは代わり映えがしないから、買い物を楽しみたいときは全国チェーンの大規模店舗や都市部に出かける地元民がほとんどだと思います。地元消費を奨めたいなら、買いたくなる、行きたくなるお店を整備しなくてはならないと思います。
- とても良いと思います。ただ市の中心部にはスーパーがなく、とても不便に感じます。歩いていけるスーパーがあれば良いのですが。
- 昔の地元商店街を復活させたい。
- 地元企業で買うメリットがないなら取り組む人は少ないと思う。
- 魅力のある店がない。他府県の方が買い物が楽しく意欲が出る。
- 地元店舗にこだわるのも良いことだけど消費者側は近くて安くて新鮮な店舗であれば地元でなくてもこだわらない!! 家族の協力や車移動できる人は尚更 地元から離れた変わったところで買い物を楽しみたいとも思うのでいちいち地元こだわっては買い物は考えないです。ただ店舗は地元じゃなくても食材は地元ものがあれば新鮮であれば購入することはあります。
- 和歌山市に本社有りの提灯でもぶら下げて欲しい。
- 和歌山発であることをもっとアピールしてほしい。
- もっと競争する方が、地域と地元店舗の活性化に繋がるとは考えられませんか?攻撃は最大の防御と捉え、地元本社以外からの参入を積極的に推進することで、若い世代の和歌山市流入になると思います。
- 正直、大型スーパーやディスカウントストア、ドラッグストアが近所にあるので、それ以外の選択肢が思い浮かばない。地元にある個人商店などの存在感がなく、今回のプレミアム商品券も使えるお店がないと購入を断念した。地元企業を盛り上げるには、やはり市政の協力ももっと必要であると思われる。地元企業や商店の主の高齢化も進んでいるかと思うので、若手の意見や協力態勢の充実をはかってもらいたい。個人商店などは、値段も高いだろうと思うので、家まで配達してくれるなど、何かオプションサービスがあればカバーできるのかとも思ったり。
- 引き続き、市内(県内)物産に留意しながら購入をしていきたいと思います。少しでもお役に立てればと思っています。
- 和歌山市に本社があるお店がどこなのかを知らない。地元の店の商品価格が高いと、購入意欲は減ります。
- 徒歩圏内にあった和歌山地元のスーパーが閉店し、その後徒歩圏内にスーパーが無くなった。人口減少による私企業の営利的な判断と思われるが、地域の住民生活のため行政からの支援制度を導入し、営業を継続できる仕組みを導入してほしい。
- 地元の中小事業店舗は飲食店が多く、販売店は少ないし近くにはない!
- 大手スーパーの様に、品数やクーポンを発行して欲しい。
- 価格優先で購入しています。
- メリットがあまりよく分からない。他の大手スーパーとどう違うのだろう。

- 地元が盛り上がればより購買が進むという好循環が1番大事。その為には観光と合わせた商店街の整備とかが和歌山市には必要。現在和歌山市には繁華街と呼べる所がないので。
- 近場に複数の店舗があることが一番。
- スーパーだと駐車場も広く行きやすいけど、個人商店や市内中心部や離れただと無料駐車場がなかったりで行こうとは思にくいです。
- 地産地消という言葉は聞きますが、バイローカルという言葉は初めてきました。
- ローカルな店舗で購入するのと、スーパーで買い物するのは金額が違いすぎる。祖母が自力で行けなくなっても、昔から日々節約していたので、便利であっても移動スーパーだと高い高いと言ってスーパーに行きたがる。なかなか地元消費が難しい理由かもしれない。直売所が増え、品揃えも野菜だけでなければ利用したいと思う。
- お年寄りなどは、地元のお店で買い物しよう、と思っても、近くのお店に行く以外の選択肢のない人もいますよね… 何らかの方法で、買い物しやすい和歌山市になればいいのにな、と思います。
- 地元消費に協力はしたいと思うけれど、やはり大手の安い商品を購入してしまう。
- 地元は大事にしたいが、このご時世安いお店にながれるのは致し方ないかと。よほど何か地元でのポイント還元など充実しないと安いところに流れるのでは。
- いまいち和歌山に本店があるかわからないお店もある。
- 小規模商店、飲食店の復活？
- いくら応援したい地元の物とはいえ、他産地のものより2割も3割も高かったら手が出しにくい。特に物価が上昇している昨今。
- 地元の店舗を応援したいと思っています。そこで買うように努めています。
- 改めて聞かれると和歌山市に本社のある会社が全然分らないのを申し訳なく思いました。調べて地元消費に貢献したいです。
- 地元志向よりも、利便性を優先します。
- いつも買い物してる店よりは高い。
- どこが地元の店なのか、個人商店がどこにあるのか知らない。バイローカルツアーみたいなものを企画してもらい、子供も一緒に意識していきたい。
- 和歌山市に本店があるかわからないので、そういうお店は表記や発信をしっかりとしてくれると助かります。
- 信用と誠実・清潔で明るい これしか無いと思う。
- 税収を増加させたいければ、公共交通機関の充実やコンパクトシティ化など先に施策があるべき。
- 地元に戻元している所を、見える形で示してくれたらもう少し、地元消費に意識は向くと思います。
- 進めているようですが、この言葉すら初めて聞きました。周知不足ですかね？
- バイローカルの考え方には賛同するが、日々の買物は利便性優先。特に私は運転免許証がないので宅配サービスやネット通販が便利。
- 地元消費を意識するより、いい品物や安いものを買うよう意識している。
- 食品などは、地元企業店舗が充実しています。他の業種に波及効果が期待できるのは、今回のプレミアム付商品券などの方法が、喚起できる方法と感じます。
- 野菜、果物などは、和歌山産を買うようにしている。
- なるべく地元が潤うように持ちつ持たれつの気持ちで地元貢献したほうが良いと思う。
- Q8.の質問ですが、和歌山市に本社がある店、かどうかわからない。そもそも和歌山市に本社がある店のみを応援するのなら、市が明確にPRすべきです。
- 地産地消をモットーにしています。
- 商店街が寂しいのが残念ですね。
- 初めて聞きました。
- 毎日の買い物はほぼすべて地元のスーパーです。  
現在車で夫婦二人で毎日行っていますが、将来車を手放したときは、自転車で行くか徒歩で行くことになります。10年後くらいにはこの地区でも高齢者が増えるため車に代わる公共交通機関をいかに現実的なものにしていくかがポイントになります。
- 商品で地元へ本社がある物が非常に少ないと思われる。地元スーパーの自社製品等は優先して買うようにしている。
- 産直や個人店舗など店舗の選択肢が増えて欲しい。スーパーは購入の魅力がない
- ローカル特典やポイント還元等があっても良い。
- どの店舗が和歌山の会社かわからない。  
日々忙しいから、行きやすい場所で買うのでなかなか難しい。個人商店となると入りにくさもある。  
専門店だと何か所も行かないといけなくて買い物だけで1日が終わってしまう。
- 特典や店舗の案内が欲しい。

- 地元消費が良いと思うが、地元、他県に関わらず、お店自体がないので、意識して選ぶ、使うことができない。
- 日用品、食料品等は地元で購入するようにしています。が、以下の品物が和歌山市には少ないので大阪市内、ネットで購入しています。  
パレエ用品(ポワントシューズ等)  
本(特に話題書)和歌山市では手に入りにくい本が、大阪市内では書店に山積みでした。欲しくても和歌山市では入手出来ない本が多い。  
外食等のレストラン
- 残念ながら和歌山はコマーシャルが下手だと思う。北海道物産展のように誰もが行きたいと思う(消費意欲をそそる)宣伝とサービスの充実を図るべき。いまいち、和歌山の魅力が伝わらない。また、バイローカルなんて言わなくても良いのでは？英語を使い過ぎるのもあまり意味がない。地産地消という日本語を大切にほしい。
- 地元の商店(和歌山市に本社)での買い物もありますが、生産者・生産地が和歌山市(和歌山県)かを見ています。
- 基本は良い品物を安い価格で売っている店に行きます。和歌山市の業者にこだわらない。地元企業を守る余裕は有りません。
- 私は産直市場のような地元の野菜や商品を置いているような所が好きなので少し遠いですが、いつもそこまで行きます。今住んでるところには近くにないので、そういった地元のものを売っているお店がもっと増えればいいのと思います。
- 地産地消、これからも励みたいです。
- 地産地消、地元消費に賛成。新鮮、輸送コストかからず、生産者、消費者共にメリットあり。
- スーパーで地元の物はほとんど売ってない。和歌山市には産直市場がないに等しい。
- 介護ヘルパーの買い物支援に関して、ヘルパーさんと一緒にお店に買い物に行ければ良いと思います。
- 促進すべき。
- 地元にかかわらず、安く良いものなら売れるのでは
- 地元消費は良い事だが私のように年齢が高くなると、なるべく自宅に近いスーパーマーケット等を利用したい。
- 値段が高い。ただそれ一択
- 産直市場は行ってみたいが近くに無いので近くのスーパーで買ってしまう。
- まず、東京に比べて商品の物価が似ているという時点で和歌山が負けている。東京は土地とほんの一部のみが高だけで、東京のほうが有利である。もっと品物を充実させるべきである。
- 値段を安くしないと買うのは難しい。
- 野菜や果物などは和歌山産、和歌山市産のものを選ぶようにしています。ただ、スーパーなどの本社所在地は気にしてないです。
- 個人商店への支援施策が必要。
- 地元というものを狭義とらえ出来るだけご近所だと思っています。昔、勤めていた時上司に物を購入するなどは近隣のお店だと教えられてからずっと心がけています。
- 利便性やアクセスの問題もあるので地元資本のスーパーによる移動販売を充実させてお年寄りの買い物の支援を進めるとともに、コンビニのネットワークや立地、店舗数をサブシステムとしてお年寄りの買い物をサポートする全体の仕組みをつくるのが必要ではないか。近くに個人経営の小規模店舗が近所のお年寄りの買い物の大きな助けになっているが、どこにでもそのようなお店があるわけではないと思う。
- 和歌山市に本社のある会社でばかり購入していたら他の所から出店とか減っていかないのですか？
- 扱っている商品も地元のを多くしてほしい。
- 和歌山市に本社のある会社がわからない。地元特別クーポンなどが、あればわかりやすいし、利用すると思います。
- コストパフォーマンスが同じであれば、地元品を利用すると思うが、そうでない場合は利用しない。
- Buy Localなどの先進的な取り組みを行う前に、大阪などの都市圏と同等の生活水準が確保できるような施策を行うべきではないか。  
流行りのものに流され過ぎ。
- 野菜はできるだけ地元の農家さんが作っている物を購入します。  
和歌山市に本社を置くお店で買い物をすることがバイローカルなら和歌山市に本社を置くお店が何処にどんな店があるか紹介してほしいです。
- 地元消費にからめて、買い物難民のための施策にしっかり取り組んでほしい。駅前の便利な場所に住んでいるのに、買い物難民になっていて、生活が成り立たない。
- 義務教育過程での取組み強化
- 食料品は地元には本社があるスーパーを利用。衣料品や日用品は地元の店に行くことはほとんどない。というか地元の店を知らない。

- 近年はネット環境が充実してスーパーさんもネット注文できるようになり、地元スーパーで買い物中にネット注文の人のために商品を選んでいる店員さんの姿をよく見かけるようになった。こういったサービスが有れば尚のこと顧客は定着すると思う。循環バスの出ているスーパーもあり、うちの近所には無いけれど高齢者でも車がな、遠いけど自分で選びたい人にはたいへん有難いサービスでもっと増えると良いと思う。
- 和歌山に本社ある店なんてあるのかあるなら教えてほしい。
- 本町地区はかつては一大商業地でした。地域住民の高齢化・人口減少で相次いで撤退・廃業されたようです。地域住民増加しないことには商店も誘致出来ません。大きな長期にわたるランドデザインが必要と思われる。自分の住んでいる町内を、50年前と比較すると3割程度の住民数になったと思われます。
- 1回/週、食料などをまとめ買いしています。安い店、近い店が買い物先を決める条件です。比較的近くにスーパーがありますが、やはり値段が第1です。
- 実際に品物を手にして、選びたいので宅配もよいが、連れて行ってくれるサービスが良いと思います。時間帯も個人が選べればなおよし。
- 地元を優先させる方法を考える方が良いのですが、物価高で少しでも安い物を買いたい場合は行政機関の補助がないと出来ないのでは。
- 生産者さんが、直接販売元に新鮮な野菜等を入荷するお店を近くに誘致してほしい。
- 和歌山市内で営業している店舗は必ず店舗内に和歌山市産直品コーナーを設置、義務化する。
- Buy Local(バイ ローカル)?? 「地消地産」とは違うのですね。生鮮食料品の地元調達、地元仕入れではないのですね。地元消費。あまり裾野の広がった話ではないですね。
- 地元のお店で全ての用が済まないの、大型ショッピングモールへ行く事が多い。
- 普段の買い物は行きやすい最寄りの店か安い店などに行きます。地元消費を勧めるなら和歌山市に本社のある店の名前をもっと周知させて、店に負担をかけずに和歌山市がポイントやクーポンをつけてお得感を出して推奨するべきだと思います。
- ぶらくり丁商店街に和歌山市に本社のあるスーパーを早期に誘致していただきたい。和歌山市に大学を誘致しておきながら学生の生活に関わる庶民感覚のスーパーが無い。和歌山市に本社のある庶民派スーパー誘致をお願いします。
- 地元で買うことが多いのですが、自動車で行くスーパーとの値段が大きく違うので、たまに自動車で買い物に行きます。
- 野菜などは地産品を購入するようにしている。
- 県庁付近のスーパーが相次いで閉鎖してしまい非常に困惑しています。
- 交通手段がなくお店もない場所に住んでいて、結局車で出かける場合、大きな店で用事を済ませたい。お店からの送迎や、交通手段の充実を考えてもらいたい。どんどんお年寄りなどは引きこもりになっていくような気がする。
- 今回のアンケートの意図が分からない。和歌山市が進めるなら、和歌山市本社〇〇スーパーの表示してください。自由競争ではないのですか。まず和歌山市が、地元の魚など誘導してください。ちゃんと税金使って下さい。
- 和歌山市に本社があるお店はこぞって価格が高い。昨今、価格高騰で財布が泣いているこの時代にわざわざ市内に本社があるというだけで明らかに他より価格が高い商品を買に行くほど家庭に余裕が無い。
- 財源がない和歌山が、バイローカルを掲げてやっていけるのか...
- 地元産品を増やして下さい。
- 徒歩圏内は無理でもせめて自転車で行かれる範囲に日用品や食料品が買えるお店がほしい。同じ系列店でも店により値段がかなり違うので、本社は和歌山市内にあってもより安い岩出市の店舗で週末にまとめ買いすることが多い。
- 飽きてくるのもあるので、色々な業種がもっと増えたらいいなと思います。
- 地元店が大型店や飲食チェーンだと分からない。
- マスメディアを巻き込んで、官民一体で訴求強化をはかるべきかと思います。
- この時期ですし、割安の所から買おうとするのが本音です。どこが和歌山市に本店を置いているのかが分からない、のも意識しない大きな理由だと思います。和歌山市で支援するのであれば、本社のある所を分かるようにすることと、差別化やお得感が出るかななどの指導が重要だと思います。ただ、和歌山市に本社のある所から購入するようにPRしても難しいと思います。
- 値段が重要で、販売者によって選ぶ事はない。
- いいことだと思います。
- 転入してきて約半年。バイローカルという言葉は初めて知りました。店舗をあまり知りません。もっと告知の必要があるのでは。

- 和歌山県、が産地のもは何となく分かるが、和歌山市、が本社とかはよくわからない。  
地元消費、というけれども、和歌山に住んでるからと言って和歌山産のフルーツが安いわけでもないの、他地方の物をつい買ってしまふ。
- これからも続けていきたいです。
- バイローカルを実施できれば良いが、大手ディスカウントストアの価格帯で生活費を組んでいる為、地元のスーパーでの買い物はハードルが高い。家族4人で食費と日用品費が月45,000円の家計では難しい
- 和歌山に本社のあるお店自体が、よくわからない。地元を応援しようアピールをしてくれたら買うかもしれないです。
- 空き店舗に無料、低賃料で、限定的に和歌山のお店を出したら良いと思います。和歌山をうるさいくらいにアピールする！
- 最近西浜付近は色々なスーパーが店出してくれて有り難いです。  
用途に応じて使用してます。又コロナ禍の時はネットスーパーを利用して対処していました。その地区により大変な地区もあると思うので送迎バスやバスの路線の本数増加などお年寄りに手厚いサービスが必要かと感じます。
- 安さ優先。値上げが続く中それ以外有り得ない。
- 和歌山市に本社のあるお店は、他店に比べ価格帯が高く、消費者側の家計負担増までして地元消費をしようとは思わない。特に物価が上がっている今の状況では企業側の努力も必要である。
- 地元消費ならではの鮮度、価格をもっと実感して買い物したいと思うが、今は地元のものの方が高い商品もあって、なかなか地元消費にはつなげられない現状です。
- できれば、和歌山内の店での買い物をしたいが、慣れ親しんだ店の方が買い物をしやすい。
- 生活に余裕があろうとなかろうと少しでも安く買いたいのは自然な行動。値動きの大きい青果物の直販所などがあれば利用すると思う。
- 子供向けのお店、たくさん増やして欲しいです。和歌山市のみんなが子供を連れて行けるような店。  
駐車場が設備されているところ
- 地元の食材を売り場にコーナーをたくさん作ってほしい。
- 値段的にも鮮度的にも一番お得な買い方だと思います。  
現在は健康のためにも歩いて買い物をしていますが、歳を重ねて行った頃には、公共のバスなど、もっと発達していることを願います。
- 地元スーパーより地元の農家を作る野菜や特産品を地元で消費できるようにしたら輸送コストが削減でき安く購入できるのでは？
- 和歌山市に本社がある会社なのかどうか分からないので、もっと宣伝することや店舗に表示するなど、分かるようになると利用頻度が変わると思います。
- いい取り組みだが、地元産より他地域で作られたもののほうが良いのであれば、買われることはない。  
生産者、制作者がより良いものを作り、他より安く提供できる仕組みを作らないとダメでしょうね。
- 飲食店だけでなく、和歌山市のお店のキャッシュレスキャンペーンがあればもっと意識すると思う。
- バイローカルという言葉は初めて聞いた。この言葉を広めないと、アンケートをとっても意味が無いのでは？

この度は、お忙しい中、アンケート調査にご協力をいただき、誠にありがとうございました。

皆さまからいただきました貴重なご意見・ご回答は、本市における地元消費(バイローカル)運動の推進のための参考とさせていただきます。

今後とも本市の商工業振興にご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。